

2015年、当社は100周年を迎えました。  
当社の歴史や製品にまつわる収蔵品がある  
博物館・美術館をご紹介します。

# 安川電機 & ミュージアム

第8回

## 福岡市博物館

所在地 福岡市早良区百道浜3丁目1-1  
開館時間 9:30～17:30 ※入館は17:00まで  
休館日 毎週月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、年末年始  
URL <http://museum.city.fukuoka.jp>

### <博物館の概要>

第8回は福岡市早良区百道にある福岡市博物館です。

福岡市博物館は近くに福岡タワーやヤフオクドームがあり  
ご存知の方も多いと思います。

こちらでは志賀島で出土した国宝金印「漢委奴国王」を常設  
展示しており、そうした古い時代から博多、福岡の近世まで  
幅広く展示されています。商人の町・博多の歴史について深く  
知ることができるほか、旧福岡藩黒田家の旧蔵品を多く収蔵し  
ています。博多、福岡の歴史を知り、それから福岡城跡や大濠  
公園、博多の寺町あたりを巡ると福岡市のいつもと違う一面を  
知ることができると思います。



国宝 金印「漢委奴国王」



常設展示 博多祇園山笠

### <当社に関わる展示>

福岡市博物館では志賀島出土の金印をはじめ、旧福岡藩主  
黒田家旧蔵の甲冑や刀剣などを収蔵しています。そのなか  
でも金印と大身槍 名物「日本号」の槍が双璧をなす人気です。

今回はこの日本号の槍と安川家のつながりについてご紹介  
したいと思います。

日本号の槍は民謡「黒田節」に謡われているように、戦国  
時代に黒田家の家臣であった母里太兵衛(友信)が福島正則の  
もとへ使いにいったおりに、勧められた酒を飲み干して、福島  
家にあった日本号の槍を所望して持ち帰ったといわれるもの  
です。その後は母里家やその縁戚の武家で日本号を所蔵して  
いましたが、明治になってから一旦市場へ出たことがあった  
そうです。明治以降は美術品や刀剣がそれまで伝来していた  
大名家や旧家から売立などで一般に出回ることがあり、日本号  
もこのとき福岡から他所へ行ってしまいう危機だったかと思  
います。そうした折に、当社の創業発起人安川敬一郎がそれを  
買い求め、そののち「黒田家にあるのがふさわしい」とのこ  
とで旧福岡藩主の黒田家へ献上したのだそうです。

日本号の槍は天皇家から豊臣秀吉、福島正則へと伝わった  
もので、全長が3mを超える大きく立派な槍です。穂という刃  
の部分も約80cmあり龍の彫物がされています。柄と鞘には  
螺鈿の装飾がされており、天下三名槍(他は蜻蛉切と、戦災で  
焼失した御手杵)ともいわれます。

こうしたものが福岡にあること、そしてそれが福岡にあり続  
けることに当社も関連あることに、少し誇らしさを感じます。



大身槍 名物「日本号」全体(上)と穂の拡大(下)

